

親子部会 活動報告

テーマ	＊発達気になる子どもと保護者が一緒に参加できる活動を企画・運営し、成長、子育てを支援する。 ＊発達気になる子どもの支援にかかわる機関のネットワークを作り、お互いの支援力を高める。		
日時	場所	参加人数	内容
4月23日（水） 10:00～11:30	須磨区役所	24名	第1回定例会 ・部会長について ・令和7年度の活動スケジュールと活動内容について ・すまっこフェアの開催場所と日程について ・講演会の内容について ・情報共有など
5月28日（水） 10:00～11:00	須磨区役所	22名	第2回定例会 ・講演会の進行と役割決め ・すまっこフェアの開催に向けた役割決め ・情報共有など（夏休みの過ごし方について）
6月19日（木） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	7名	第1回すまっこフェア運営企画チーム打合せ ・令和6年度のすまっこフェア実施内容の確認 ・開催場所（北須磨支所）の確認 ・内容について話し合い ・タイムスケジュールと役割分担について検討
6月30日（月） 10:00～12:00	須磨区役所 健康教育室	多数	講演会「発達に特性のある子どもの理解と支援」 松井学洋氏
7月4日（金） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	7名	すまっこフェア広報チーム打合せ ・チラシ作成について ・チラシ配布先や広報方法について検討
7月8日（火） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	5名	すまっこナビ見直しチーム打合せ ・すまっこナビ見直し作業 ・印刷部数について ・すまっこフェア実行リーム打合せの報告
9月3日（水） 10:00～11:30	須磨区役所	23名	第3回定例会 ・すまっこフェア開催に向けての各チーム話合いの報告 ・すまっこフェアの進行と役割決め ・その他情報共有等
9/26（金） 10:00～12:00	北須磨支所 5階大会議室	45名 家族4名 支援者7名 部会員34名	第11回すまっこフェア ・すまっこナビ冊子の説明 ・事業所フェア（各事業所が設置したブースを、参加者が自由に訪問、交流）
11月26日（水） 10:00～11:30	須磨区役所	27名	第4回定例会 ・すまっこフェアの振り返り ・事業所交流会の内容について提案と検討

1月28日（水） 10:00～11:30	須磨区役所	21名	・事業所交流会 ・グループワーク「利用児童・生徒が困っていること、それに対するアイデアや意見出しをしよう！」 ・来年度に親子部会で取り組みたいことについていけん出し
2月25日（水） 10:00～12:00	須磨区役所	21名	第5回定例会 ・令和8年度すまっこフェア開催について ・令和8年度の取り組み・スケジュールについて ・今後の運営方法について ・年間スケジュールについて ・その他 情報共有など
3月6日（金） 10:00～12:00	須磨区役所	9名	すまっこフェア運営企画チーム打合せ

（すまっこフェア）

【成果】

- ・令和6年度から、前半はすまっこナビ冊子の説明、後半は各事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）と関係機関（特別支援学校、ボランティアセンター、発達障害者相談窓口、相談支援事業所、障害者相談支援センター）のブースにて保護者が直接相談できるフェアのスタイルをとっている。
- ・すまっこナビ冊子は必要な内容がより見やすくなるように改定し、新しい情報に更新ができた。
- ・参加者は45名（家族4名、支援者7名、部会員34名）。保護者の参加は少なかったが、アンケートでは、「療育に関する具体的な話ができて良かった」「事業所の取り組みや目的を聞いて良かった」等の感想が挙がった。

【課題】

- ・子どもたちが置かれている環境や保護者のニーズを整理し、フェアの内容を再検討していく必要がある。
- ・保護者に必要な情報が届いていないことが再認識できたため、フェアと併せて、すまっこナビ冊子の広報活動も力を入れていく必要がある。

（事業所交流会）

【成果】

- ・親子部会の取り組みの中でも地域課題の抽出を意識するため、事務局より神戸市障害者プランの説明を行い、利用者・家族の困り事・それに関連した事業所の困り事を記載するシートを作成。そこで出た意見をもとにグループワークを実施した。
- ・来年度のすまっこフェアの内容に繋がる話し合いができた。

【課題】

- ・事業所が悩んでいることを共有し、意見交換する機会が必要。
- ・地域交流については、事業所間で情報交換や勉強する機会が欲しい。

（「発達に特性のある子どもへの理解と支援」講演会）

- ・親子部会の中で、保護者が抱える悩み事について保護者と一緒に学べる機会が欲しいという声が挙がった。そこで、関西学院大学の松井学洋先生に講師を依頼し、行動がワンテンポ遅い、じっとしてられない、集団活動に参加できない、お友達の気持ちが分からない、手が出てしまう等、さまざまな困り感を持つ子ども

たちを支えていくために、家族や支援者に求められることについて学んだ。講演会は保護者や関係機関を含めて74名が参加し、大盛況であった。

【令和8年度に向けて】

- ・すまっこフェアは、より多くの保護者や関係機関に参加してもらえるように、ニーズに沿ったテーマを決め、対象者を明確にする。
- ・運営企画チームを発足し、親子部会で出た意見をもとにすまっこフェアの運営を行う仕組みをとる。
- ・事業所交流会は一旦終了し、親子部会の活動を通して、タイムリーな困りごとが話し合える事業所間のネットワーク作りを行い、他事業所の取り組みや有用な情報等を共有できる内容を企画していく。